総代会　会員一人ひとりのご意見を、金庫経営に反映させていきます。

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員１人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、１人１票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員１人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業部店までお寄せください。

総代とその選任方法

(1)総代の任期・定数

・総代の任期は3年です。

・総代の定数は、120人以上150人以下で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。
　なお、2020年6月1日現在の総代数は150人で、会員数は17,908人です。

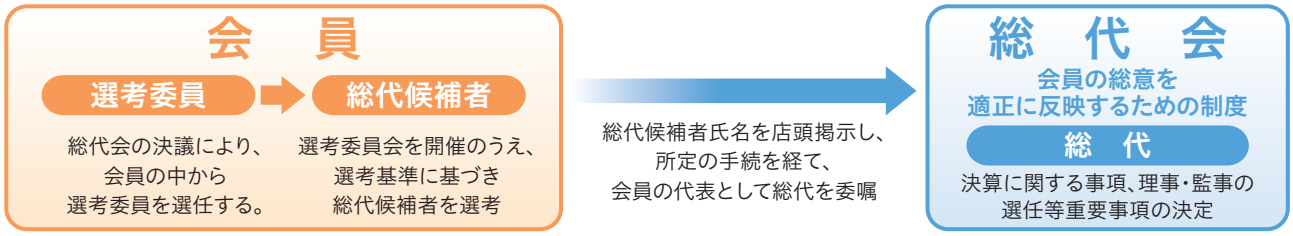
(2)総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準(注)に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

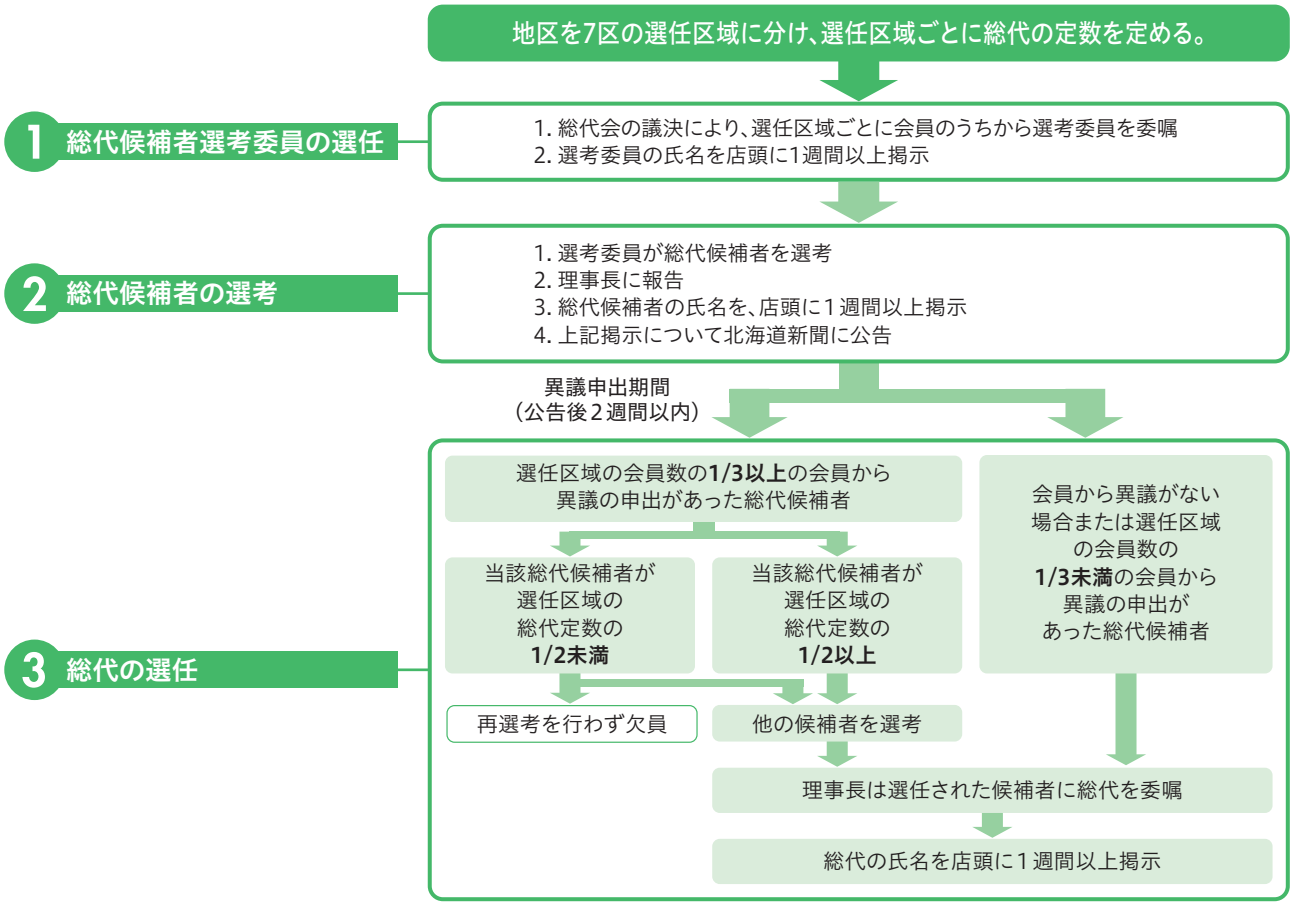
1.総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
2.選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
3.上記２により選考された総代候補者を会員が信任する。(異議があれば申し出る)

(注)〈総代候補者選考基準〉

1. 当金庫の会員でなければならない
2. 就任時点で満80歳を超えていないこと
3. 地域における信望が厚く、総代としてふさわしい人物であること
4. 信用金庫の使命と理念をよく理解し、金庫との取引も良好であること
5. 地域の事情に明るく、金庫に対する協力者であること
6. 事業者である場合は、経営内容が良好であること



〈総代が選任されるまでの手続について〉



第77回通常総代会の決議事項

第77回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり了承されました。

第77回通常総代会議案

(1)報告事項

第76期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

(2)決議事項

第1号議案　剰余金処分案承認の件

第2号議案　理事2名選任の件

第3号議案　監事1名選任の件

第4号議案　退任理事1名および退任監事1名に対する退職慰労金贈呈の件

第5号議案　定款第15条に基づく会員除名の件

総代の氏名

●2020年6月1日現在（敬称略・五十音順）※氏名後の丸数字は総代の就任回数

選任区域		人数	氏　名
第1区	本店	7名	高岡　広明④　田島　元④　田畑　昌伸⑥　樋口　英俊⑤　前田　憲男⑤　万年　雅利⑥ 室谷　元男⑦
	上ノ国支店	7名	草間　貞一⑪　小林　恭平⑨　小林　誠④　谷口　功⑪　福士　秀彦⑤　横山　栄一④ 若狭　正仁②
	奥尻支店	5名	明上　雅孝③　石川　克己⑦　越森　修平③　干場　明②　三上　勝廣⑤
第2区	熊石支店	3名	島谷　喜人⑩　田中　裕⑤　宮田　千秋⑤
	乙部支店	5名	大坂　裕康④　工藤　勝仁②　近藤　宗司⑦　田中富士雄⑥　中道　照幸⑥
	厚沢部支店	5名	鈴木　祥司⑦　鈴谷　満紀⑪　能登谷謙一⑧　前井　敏弘④　山田　工④
第3区	福島支店	5名	上嶋　利洋④　西田　篤司①　平野　武実⑦　湯淺　章⑩　吉田　隆悦③
	松前支店	3名	中江　清隆⑤　早瀬　智幸④　松尾　佳清⑥
	木古内支店	4名	北島　孝雄⑧　手塚　通隆④　西根　悌司①　廣瀬　雅一②
	知内支店	4名	奥山　茂②　齊藤　毅④　澤岡　孝彌⑨　繁田　一義③
第4区	函館支店	24名	青木　善一④　荒木　保①　五十嵐　稔⑦　大竹　昌尚⑤　小笠原勇人①　及能　有三① 國立　金助⑥　小坂　三男⑧　島本　肇⑥　菅原　徹⑦　鈴木　守⑧　髙野　元宏② 竹内　優之①　田中孝太郎⑥　谷川　栄樹⑥　長南　武次①　豊田　千春⑤　早川　勝紀⑫ 原　隆俊⑪　福西　秀和⑧　藤原　史章①　米塚　茂樹⑤　渡邉　和輝④　渡邉　宏海③
	湯川支店	10名	長内　則明⑦　菊池　一樹①　佐藤　知寿②　菅井　幸光⑫　土谷　健治⑨　堤　良夫② 中濱　一義⑧　野口　等④　藤本田鶴美⑤　山矢　譲①
	えさん支店	5名	斉藤　明男⑨　佐々木善昭⑥　髙木　和寿①　中市　敏樹①　中村　陸三③
第5区	函館中央営業部	17名	相川　良夫⑤　石橋多喜雄⑧　大越　信幸⑩　岡村　秀康⑰　角田　隆芳⑤　梶原　健司⑥ 金木　茂治⑪　久保　司①　斎藤　秀司①　須田　新崇⑮　玉津　眞史⑬　利波　英樹① 新田　朗彦⑧　本郷　嘉彦⑫　三浦　英昌①　宮﨑　昌②　吉野谷文一①
	ばんだい支店	9名	池田　信夫①　木村　孝二⑦　小林　弘⑰　佐藤　研二㉒　橋本　範行②　丸山　量⑬ 宮﨑あけみ③　吉田　勤⑬　渡部　二康⑦
第6区	亀田支店	6名	石川　昭信④　石田　勝義②　松田由美子①　村上　隆樹④　森崎　幹子⑯　吉田　直人⑭
	中道支店	5名	安保裕一郎⑫　岩館　一則⑦　小林　政春⑦　竹田　青司③　出戸　秀光⑦
第7区	七重浜支店	8名	安藤　栄継⑤　石崎　幸男⑩　熊谷　孝之⑥　佐々木博史⑫　床鍋　喜雄⑦　堀　英二③ 本庄　寛治⑦　矢口　政則②
	北斗支店	8名	小野　精一②　金澤　賢一⑥　佐藤　悦郎⑦　澤田　龍②　武田　真③　時田　茂⑤ 二井田　守⑥　福島　忠志⑤
	七飯支店	10名	秋田　広樹①　大清水新一⑭　川尻　淳一⑤　川又　修治④　小泉　真⑧　財津　茂實⑥ 佐藤　哲司⑥　林　一哉⑥　原子　秀康⑨　横田　有一⑦

合計150名

総代の業種別・年齢別構成

《職業別構成》

法人代表者	137人（91.3%）
個人事業主	9人（6.0%）
個人	4人（2.6%）

《業種別構成》

製造業	19人（13.0%）
漁業	2人（1.3%）
鉱業、採石業、砂利採取業	1人（0.6%）
建設業	44人（30.1%）
運輸業、郵便業	6人（4.1%）
卸売業、小売業	40人（27.3%）
金融業、保険業	1人（0.6%）
不動産業	8人（5.4%）
学術研究、専門・技術サービス業	3人（2.0%）
宿泊業	2人（1.3%）
飲食業	1人（0.6%）
生活関連サービス業	8人（5.4%）
教育、学習支援業	2人（1.3%）
医療、福祉	4人（2.7%）
その他サービス業	5人（3.4%）

※業種別の構成比は、法人代表者・個人事業主に限っております。

《年齢別構成》

30代	1人（0.6%）
40代	10人（6.6%）
50代	26人（17.3%）
60代	62人（41.3%）
70代以上	51人（34.0%）

総代候補者選考委員の氏名

●2020年6月1日現在（敬称略・五十音順）

選任区域		氏名
第　1　区	本　　店	荒木壽美男
	上ノ国支店	八十科　剛
	奥尻支店	成田　久
第　2　区	熊石支店	田村美津雄
	乙部支店	光成　弘治
	厚沢部支店	香川　敏彦
第　3　区	福島支店	奈良　正喜
	松前支店	小川　正紀
	木古内支店	北島　孝雄
	知内支店	奥山　彰
第　4　区	函館支店	長南　武次　原　隆俊
	湯川支店	藤本田鶴美
	えさん支店	斉藤　明男
第　5　区	函館中央営業部	角田　隆芳　斎藤　光子
	ばんだい支店	柏葉　孔
第　6　区	亀田支店	石川　昭信　森崎　幹子
	中道支店	小林　政春
第　7　区	七重浜支店	三浦　和彦
	北斗支店	金澤　賢一
	七飯支店	堀　元

合計23名

地域貢献　地域の繁栄は、金庫の繁栄。地元経済の振興こそが信金の務めです。

当金庫の地域経済活性化への取り組みについて

当金庫は、桧山・渡島管内に位置する2市14町を事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客さまからお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や生活の安定のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機関の業務提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

お客さまの預金について

当金庫の2020年3月末の預金積金残高（譲渡性預金を含む）は2,730億円です。お客さまからお預かりした大切な預金は、皆さまから信頼をいただいている証であります。

地域のお客さまへのご融資について

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆さまへのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心掛けております。

当金庫の2020年3月末の貸出残高は右図の構成となっております。

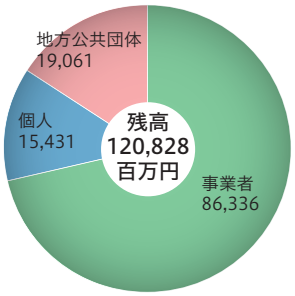
〈貸出の運営方針〉
1. 地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援いたします。
2. 大口に偏重することなく、多数のお客さまにご利用いただけるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
3. 業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

なお、地元中小企業や地域社会の皆さまの様々な資金ニーズにお応えするため、制度融資資金等をはじめ、各種商品を取り揃えております。

※取扱商品につきましては、24～25ページをご覧ください。

預金積金における貸出金の割合／44.24%
設備資金／69,086百万円
運転資金／51,742百万円

［貸出金残高構成］
（単位：百万円）



※金額単位未満および小数点第3位以下は切り捨てして表示しております。
※各計数は2020年3月末現在です。

ご融資以外の運用について

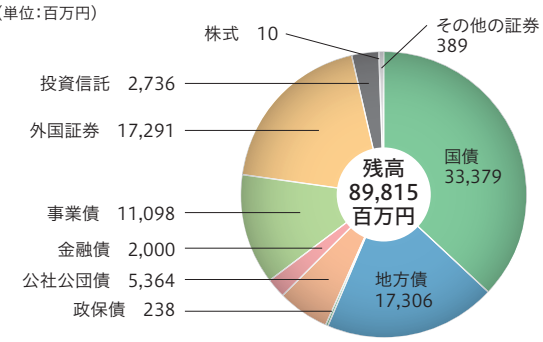
当金庫はお客さまの預金を、ご融資による運用の他に有価証券等による運用も行っております。

有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に各種リスクに十分配慮し、安全な運用に努めております。

この他、即日換金可能な信金中金定期預金等への預入により、流動性リスクについても十分配慮しております。

●有価証券残高／89,815百万円
●預 け 金 残 高／70,086百万円

［有価証券残高構成］
（単位：百万円）



※金額単位未満は切り捨てして表示しております。
※各計数は2020年3月末現在です。

お取引先へのご支援等について（地域との繋がり）

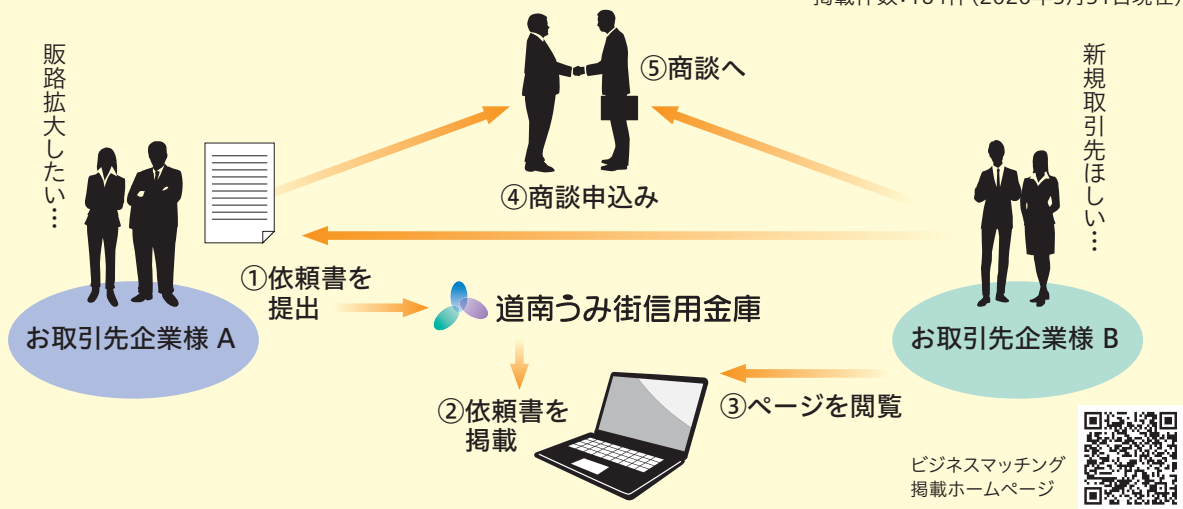
●中小企業者や個人事業主の皆さまの経営に少しでもお役に立てていただければとの思いから、地域内の経済情報を収録した「地区内経済概況」、「月別概況」や「営業地区内の景気動向調査」、業界経済情報誌である「経営情報」等の各種経営情報をお届けしております。
●個人のお客さまが希望した場合、生活に密着した各種情報が満載されている情報誌「楽しいわが家」をお届けしております。
●お取引企業と「うみしん職域サポート協定」を締結することで、経営者を含む従業員に対し当金庫の取り扱う金融商品について、金利優遇等のサービスを行っております。お取引企業は従業員が定着し、健康で文化的な生活を営み、生活の安定と向上等、福利厚生面でお役に立てるといったメリットがあります。
●高齢者等への課題対応等地域住民サービスの一環として、当金庫営業店所在地2市11町と「高齢者等の地域見守り活動に関する協定」を締結しております。締結させていただいた市町と連携して、複合的かつ重層的な見守り・安否確認の仕組みを構築し、高齢者の孤独死防止等に寄与するための取り組みをしております。

うみしんビジネスマッチング応援

当金庫のホームページ上にビジネスマッチングページを掲載し、お取引企業の事業展開を応援、事業パートナー等と出会う機会を提供させていただくサービスを実施しております。

お取引企業のビジネスマッチングにかかるニーズ情報（販路の拡大等）を掲載することにより、新しいビジネスへと繋げていただくことを目的としております。

掲載件数：184件（2020年3月31日現在）



トピックス

2019年度の主なできごと

2019年3月29日	入庫式（新入職員11名）
2019年6月17日	第76回通常総代会を開催（於：函館市　マリエール函館）
2019年７月１日 ～10月31日	セーフティーラリー北海道2019へ参加（参加215名）
2019年８月１日	木古内支店の窓口営業時間変更
2019年８月31日	全店一斉総合防災訓練を実施（各町消防署が協力）

地域とのふれあい

お客さまネットワーク化の取り組み

当金庫には、各営業部店のお取引先事業者さま（会員）相互の親睦・交流を目的として設立された親睦団体「うみしん会」や、当金庫で年金をお受取りのお客さまを対象とした「年金友の会」がございます。

○うみしん会

【14団体：会員数1,111名（2020年3月末現在）】

各団体で経済講演会・旅行・ゴルフ大会・懇親会・レクリエーション等様々な催しを行っており、当金庫も参加・後援し、お客さまの発展と繁栄のお手伝いをしております。

○年金友の会

【16支部：会員数4,010名（2020年3月末現在）】

歌謡ショー・パークゴルフ大会・旅行・新年会等、様々な催しを企画しております。

●2019年度は「歌舞伎観劇とスパリゾートハワイアンズ」の旅に81名のご参加をいただきました。

地域活性化への『連携』

当金庫では、地方公共団体や各企業と連携協定を締結し、共同で様々な活動へ参加・協力することで、地域活性化へ取り組んでいます。

○渡島総合振興局、檜山振興局との三者包括連携協定の具体的事業活動

観光をはじめとする産業振興や地域の人材育成に関する取り組みなどで連携することにより、道南地区全体の活性化を図る目的で、2018年3月に締結した包括連携協定の一環として、2019年度は以下の取り組みを行いました。

●道南広域観光の推進を目的として両振興局より各地域の観光案内パンフレットの提供を受け、北海道、東北、北関東の信用金庫業界団体旅行をターゲットとしてＰＲを行いました。

●地域を支える人づくりを目的として道南圏の地域おこし協力隊を対象とした地域へ定着するための起業研修会への講師派遣を実施

●「渡島・檜山管内の各産業分野の現状等について」と題して、職員向け研修会を実施

●秋の全国交通安全運動期間に交通安全啓発活動を実施（湯川支店）

●店舗内ロビーにて「地域イベント等パネル展」の開催（5店舗）、

「新型コロナウイルス緊急事態宣言掲示活動」の実施（全店舗）

●「ほっかいどう応援会議」への参加登録

●当金庫発行の「地区内経済概況」へ両振興局関連事業を掲載し情報発信の実施（毎月）

●北海道との包括連携協定5周年企業として知事より感謝状を受領

●SDGs×北海道交流セミナーin道南に参加

○公益社団法人函館法人会、公益社団法人江差地方法人会との業務連携

2018年12月に公益社団法人函館法人会と、2019年2月に公益社団法人江差地方法人会と業務提携を締結しております。

2019年度は共催事業として札幌国税局および函館税務署より講師を招き、消費税率引上げ直前対策として「軽減税率セミナー」を開催しました。

●6月 3日　於：江差町
●6月21日　於：知内町
●6月26日　於：北斗市

若手経営者育成のための学習塾を開校

当金庫では、2018年6月に地域活性化を目的とする若手経営者育成のための学習塾「開陽塾」を江差地区に開校しております。2019年度は12月に函館地区「ともえ塾」、2020年2月に渡島西部地区「海峡塾」を新たに開校し、若手経営者の勉強・交流の場として活用いただくことで、地域活性化に取り組んでおります。

○2019年度開催テーマ

【開陽塾】
・「観光の質を高める－概論と事例－伝える力」
・「そして、江差から北海道を変える」
・「我が国の財政と道南地域の経済情勢について」

【ともえ塾】
・「地域のビジネスを元気にする事例と処方箋」

【海峡塾】
・「地域活性化の新たな取り組み」

道南杉ベンチの寄贈

当金庫創立90周年（2014年）を契機に、地域への感謝の意を表し、地場産材である「道南杉」を使用した「ベンチ」を寄贈しております。（寄贈総数90脚）

《2019年度寄贈先・設置場所》
・江 差 町　「旧檜山爾志郡役所」
・上ノ国町　「道の駅 もんじゅ」
・八 雲 町　「ふれあい交流センターくまいし館」
・乙 部 町　「乙部町民会館」
・厚沢部町　「道の駅 あっさぶ」
・福 島 町　「岩部地区交流センター」
・奥 尻 町　「特別養護老人ホーム おくしり荘」
・松 前 町　「松前城」
・函 館 市　「函館公園ビジターセンター」「昭和公園休憩施設」
　　「市民の森ビジターセンター」
・（特非）日本障害者・高齢者生活支援機構「中島れんばいふれあいセンター」
・北 斗 市　「北斗市郷土資料館」
・七 飯 町　「大中山出張所・多世代交流地域センター」
・木古内町　「道の駅 みそぎの郷 きこない」
・知 内 町　「知内町中央公民館」

スポーツ振興活動

○スポーツイベントへの取り組み

少年野球大会やパークゴルフ等各種スポーツ大会の開催、マラソン大会への協賛や参加を通じて、皆さまと交流を深めております。

●道南うみ街信用金庫杯
「第15回ジュニアフットサル大会」の開催
渡島檜山管内の少年サッカー24チーム288名のご参加をいただきました。

●第5回道南うみ街信用金庫杯
少年軟式野球大会の開催
渡島檜山管内の少年野球49チーム760名のご参加をいただきました。

●第29回道南うみ街信用金庫杯争奪
「中学校野球大会」の開催

●第39回うみしん中道杯争奪
「親善少年野球大会」の開催

●第23回道南うみ街信金福島杯
パークゴルフ大会の開催

●第6回奥尻ムーンライトマラソンへの
特別協賛および参加

●2019函館マラソンへの協賛および参加

●第42回少年剣道江差大会への協賛

●第28回北海道女だけの相撲大会への
協賛およびお手伝い

○「うみ街信金ボールパーク」ネーミングライツパートナー契約

江差町と「江差町民野球場」に係るネーミングライツパートナー契約を締結しました。

2018年4月からの5年間「**うみ街信金ボールパーク**」として、地域の皆さまに親しまれ活用していただくとともに、スポーツ振興に貢献してまいります。

地域行事・祭事への協賛・参加

地域の皆さまとのふれあいを大切にし、各地区で行われたお祭りやイベントに積極的に参加・協賛しております。

●函館港まつり「ワッショイはこだて」

●第50回箱館五稜郭祭
●函館護国神社例大祭
●恵山つつじまつり
●湯川商店街「第27回千勝まつり」
●湯川商店街振興組合「納涼ビアガーデン」
●函館八幡宮例大祭
●第54回湯の川温泉花火大会
●湯倉神社例大祭
●はこだてクリスマスファンタジー
●はこだて冬フェスティバル
●第27回春の江差いにしえ夢街道
●江差かもめ島まつり

●八大龍王神八江聖団　神輿渡御祭
●姥神大神宮渡御祭
●江差ふるさと盆踊り
●第20回冬江差“美味百彩”なべまつり
●夷王山祭り・上ノ国輓馬大会
●エゾ地の火まつり
●上ノ國八幡宮例大祭
●熊石あわびの里フェスティバル
●根崎神社例大祭
●熊石商工会夏まつり・花火大会
●熊石産業まつり
●元和台マリンフェスティバル
●乙部八幡神社例大祭
●乙部町産業まつり
●あっさぶふるさと夏まつり
●大瀧不動春季大祭
●横綱の里商店街組合「おとなり会」
●福島町商工会「にぎわい夏祭り」
●第33回「やるべ福島イカまつり」
●第30回海峡花火大会
●月崎神社例大祭
●福島大神宮例大祭
●奥尻なべつる祭
●第36回松前城下時代まつり
●松前城下マグロまつり
●第23回北斗陣屋桜まつり
●第14回北斗市夏まつり
●七重浜商店会納涼夏まつり
●七重浜稲荷神社秋季大祭
●2019北斗市商工会観光まつりin八郎沼
●第38回北斗市茂辺地さけまつり
●大沼湖水まつり
●三嶋神社例大祭
●大沼神社例大祭
●第54回大沼函館雪と氷の祭典
●きこない咸臨丸まつり
●佐女川神社例大祭
●寒中みそぎフェスティバル2020
●第35回サマーカーニバルin知内
●第22回知内町カキVSニラまつり

文化・金融教育活動

各種大会の開催・支援のほか、地域行事等の展示会や作品の展示へロビーを会場として開放しております。

●劇団四季主催「こころの劇場」へ支援企業として協賛

劇団四季が全国規模で開催し、各地の小学生を無料で招待して公演している“こころの劇場”が江差町・七飯町において9月に開催され、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、七飯町から招待をうけた小学生がミュージカルを鑑賞しました。

未来を担う子供たちの心に、生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなどを、舞台を通じて語りかけようという趣旨に賛同し、支援企業として協賛しました。

・演目「はだかの王様」

●第43回 道南地区小中学生珠算競技大会の開催

北斗市七重浜住民センター「れいんぼー」にて、地域の教育（珠算技能の習得）と振興を目的として、地域の小中学生59名参加により開催しました。

●インターンシップ（職場体験学習）の受入

店舗所在地近隣の中高校生を対象とした業務体験研修を開催しました。

（中学校）・浜分中学校
・江差中学校
・松前中学校
・旭岡中学校
・乙部中学校

（高　校）・福島商業高校
・江差高校

●店舗ロビーを活用した作品展の開催

・税に関する絵はがきコンクール作品展
・乙部町滝瀬海岸写真展
・江差小中学生俳句展
・各保育園、幼稚園絵画展
・各小学校絵画、書道作品展
・江差高校美術部作品展

●第57回江差追分全国大会

●檜山管内児童・生徒美術展

●市民創作「函館野外劇」協賛

●第14回北斗市珠算競技大会

地方自治体の「まち・ひと・しごと」創生総合戦略に関する施策会議等への積極的な参画

当金庫は、店舗所在地の各自治体における「まち・ひと・しごと」創生総合戦略に関連した施策会議等に地域金融機関としての知見を活かし委員として積極的に参画し、地域活性化に取り組んでおります。

なお、地域密着型金融の強化、高齢者への課題対応等地域住民サービス強化の一環として「高齢者等の地域見守り活動に関する協定」を2市11町と締結しております。

環境問題への取り組み

環境問題への取り組みは社会的責務であり、当金庫としても「やれること・やらなければならないこと」に積極的に取り組んでおります。

電力使用量の削減を主要課題として、“クールビズ”や“ウォームビズ”を実施し、夏・冬の“節電取り組み”への協力をしているほか、「太陽光発電システム」の設置や、新築店舗や照明機器の取替えは「LED照明」を採用しております。

また、各地区で行われた町内・海水浴場等の一斉清掃や植樹・除草作業などの取り組みに参加しております。

●江差町クリーンアップ作戦
●奥尻町クリーンアップ作戦
●「北斗市市民植樹祭」
●「十字街商盛会花壇植栽」
●福島町「花いっぱい運動」
●大森浜海岸清掃ボランティア活動
●サラキ岬チューリップ球根植え事業
●各町内会の清掃活動

福祉活動

・「特別養護老人ホームくまいし荘秋祭り」で模擬店のお手伝い
・移動献血車による「愛の献血運動」への協力

その他

・各地区で行われた「交通安全運動」等へ参加し、交通安全の啓蒙活動を行いました。
・金融犯罪防止活動の一環として、各地域の警察署と協力して“振込詐欺防止”を来店のお客さまに呼びかけました。

カラー電車「うみしん号」運行中!

当金庫では、PR効果だけでなく、地域貢献を目的に観光都市「はこだて」の歴史と自然が調和する美しい街並みを守る観点から、良好な景観の形成に配慮することが求められている市電車体広告「うみしん号」を運行しております。

大規模改修工事が実施され、新たに2019年4月より運行開始しております。